THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

一般社団法人
全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会

全米輸案内
(ぜんべいゆ)

2026

令和8年10月30日版

組織概要

● 全米輸は、日本産のコメ・コメ関連食品（パックご飯、加工米飯、米粉、米粉製品、米菓、日本酒）の輸出を促進する一般社団法人です。
　全国の上記商品に関係する企業・団体様を会員とし、輸出促進のための各種事業を行っています。

1. 名　称　一般社団法人 全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会
※ 農林水産大臣より「農林水産物・食品輸出促進団体」として認定を受けた16の認定品目団体の1つです。

2. 設　立　平成 27 年（2015年）8 月 13 日

3. 所在地　東京都中央区日本橋小伝馬町15－15食糧会館 6F

4. 代表理事　木村　良（きむら りょう）

5. 会員数　140会員（令和8年10月30日現在）

6. ホームページ　https://zenbeiyu.com/jp/

7. 事務局　電話番号：03-5643-1720
FAX：03-5643-1721
メールアドレス　jimukyoku@zenbeiyu.or.jp

8. 目　的

（1）我が国の良質な米・米関連食品の海外での需要の開拓・拡大を図り、世界のマーケットに届けるため、オールジャパンで取り組むべき共通課題の洗い出し・解決に向けた協力体制を構築すること。

（2）米、米関連食品輸出の拡大を通じて、我が国のコメ生産者の所得向上に資すること。

（3）米、米関連食品の輸出拡大に向けて、協議会会員間の相互の情報収集、共有を通じ、各種連携を促進し、必要に応じて輸出事業の共同展開に資すること。

9. 事　業

（1）プロモーション及び商談会等の実施を通じた日本産コメ・コメ関連食品の海外需要開拓（実施事例は6ページ～）

（2）最重点市場である米国市場にエージェントを配置（東海岸・西海岸）

（3）輸出促進のためのコンテンツ・ツール・ホームページ等の制作・管理

（4）輸出専門家の設置により、会員からの相談、海外レポートの発信、伴走支援を実施

（5）会員セミナーの開催等を通じた海外・輸出についての情報発信　等

【2025年実施セミナー】

- アジア諸国のコメ・コメ関連製品の輸入法令規制や注意点、トラブル事例
- 「ITによる新しい食品輸出」
- EUの包装規制について
- 全米輸米国エージェント活動報告
- 米輸出 ― 販路開拓と法令規制のポイント　他

会員 一覧

全会員140社。うち、正会員77社、賛助会員63社。(10月30日時点)

■全会員　140社　（正会員 77社、賛助会員 63社）

米　（88）	
1	秋田なまはげ農業協同組合
2	芦別RICE北海道米輸出拡大推進協議会
3	株式会社石崎商店
4	株式会社いつみ家
5	伊藤忠食糧株式会社
6	株式会社大潟村あきたこまち生産者協会
7	木徳神糧株式会社
8	錦倉商事株式会社
9	合同会社くまもとごはん
10	くりや株式会社
11	株式会社クボタ
12	ごしょつがる農業協同組合
13	有限会社小柳農園
14	有限会社斎藤農場
15	庄内みどり農業協同組合
16	JA全農インターナショナル株式会社
17	食協株式会社
18	株式会社食創
19	株式会社ショクレン北海道
20	株式会社神明
21	全国農業協同組合連合会
22	全国米穀販売事業共済協同組合
23	千田みずほ株式会社
24	株式会社種商
25	株式会社ツナギ
26	出羽弥兵衛株式会社
27	東洋ライス株式会社
28	豊通食料株式会社
29	株式会社名古屋食糧
30	株式会社ニチレイフーズ
31	株式会社NEWGREEN
32	株式会社八代目儀兵衛
33	株式会社阪急阪神百貨店
34	㈱パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
35	株式会社百笑市場
36	ホクレン農業協同組合連合会
37	北海道中央食糧株式会社
38	株式会社松原米穀
39	株式会社丸屋本店
40	株式会社ミツハシ
41	三菱商事株式会社
42	みな穂農業協同組合
43	株式会社ヤマタネ
44	大和産業株式会社
45	株式会社吉田屋
46	ライスフレンド株式会社
47	株式会社アイカワ　（賛助）
48	秋田屋株式会社　（賛助）
49	株式会社ヴォークス・トレーディング　（賛助）
50	株式会社うるら　（賛助）

米		
51	株式会社エイチ・アイ・エス	（賛助）
52	株式会社HSS	（賛助）
53	農事組合法人大潟ナショナルカントリー	（賛助）
54	株式会社Onigiri&Co.	（賛助）
55	一般社団法人おにぎり協会	（賛助）
56	株式会社オリゼ	（賛助）
57	カネシメホールディングス株式会社	（賛助）
58	有限会社川口納豆	（賛助）
59	河内町認定農業者協議会	（賛助）
60	北つくば農業協同組合	（賛助）
61	株式会社吉兆楽	（賛助）
62	cool-japan株式会社	（賛助）
63	有限会社グリーンパワーなのはな	（賛助）
64	高知県	（賛助）
65	コストコホールセールジャパン株式会社	（賛助）
66	株式会社ジェイアンドシー	（賛助）
67	JHG Germany株式会社	（賛助）
68	潤徳株式会社	（賛助）
69	ジョイントファーム株式会社	（賛助）
70	株式会社隅田屋商店	（賛助）
71	住友商事北海道株式会社	（賛助）
72	全国主食集荷協同組合連合会	（賛助）
73	双日農業株式会社	（賛助）
74	一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会	（賛助）
75	株式会社中谷本舗	（賛助）
76	なのはな農業協同組合	（賛助）
77	株式会社New Pan Hokkaido	（賛助）
78	株式会社農村日和	（賛助）
79	ベイクックコーポレーション株式会社	（賛助）
80	株式会社宝生倉庫	（賛助）
81	まねき食品株式会社	（賛助）
82	ミナミ産業株式会社	（賛助）
83	みやぎ登米農業協同組合	（賛助）
84	みらい米市場株式会社	（賛助）
85	株式会社むらせ	（賛助）
86	株式会社MOST	（賛助）
87	ヤンマーマルシェ株式会社	（賛助）
88	株式会社Wakka Agri	（賛助）

米　菓　（10）	
1	岩塚製菓株式会社
2	越後製菓株式会社
3	酒田米菓株式会社
4	全国米菓工業組合
5	みやぎのあられ株式会社
6	森白製菓株式会社
7	合同会社UNCLE MOCHI　（賛助）
8	菊一あられ株式会社　（賛助）
9	株式会社ジャパン・ファームプロダクツ　（賛助）
10	株式会社禾　（賛助）

日本酒　（12）	
1	天吹酒造合資会社
2	尾畑酒造株式会社
3	菊正宗酒造株式会社
4	黄桜株式会社
5	小西酒造株式会社
6	玉乃光酒造株式会社
7	長龍酒造株式会社
8	人気酒造株式会社
9	白鶴酒造株式会社
10	ナオライ株式会社　（賛助）
11	日本盛株式会社　（賛助）
12	株式会社安福又四郎商店　（賛助）

包装米飯　（6）	
1	アイリスオーヤマ株式会社
2	株式会社ウーケ
3	株式会社相馬屋
4	テーブルマーク株式会社
5	一般社団法人全国包装米飯協会　（賛助）
6	株式会社プリミティブ・ドライブ　（賛助）

米粉・米粉製品　（9）	
1	アルファ電子株式会社
2	群馬製粉株式会社
3	小林生麺株式会社
4	株式会社SAKU
5	株式会社波里
6	熊本製粉株式会社　（賛助）
7	株式会社ムシロジックホールディングス　（賛助）
8	矢野食品株式会社　（賛助）
9	株式会社RICE ENTERTAINMENTS　（賛助）

その他　（15）	
1	株式会社AIHO
2	株式会社エス
3	元気寿司株式会社
4	株式会社JS食品
5	鈴茂器工株式会社
6	対馬水産株式会社
7	パナソニック株式会社
8	株式会社朝倉海苔店　（賛助）
9	株式会社アイル　（賛助）
10	エースシステム株式会社　（賛助）
11	奥野製薬工業株式会社　（賛助）
12	株式会社サタケ　（賛助）
13	GFサポート株式会社　（賛助）
14	株式会社プレナス　（賛助）
15	株式会社フランクジャパン　（賛助）

「農林水産大臣認定品目団体」

- 全米輸は、令和４年12月5日付で、農林水産大臣より輸出促進法に基づく「認定農林水産物・食品輸出促進団体（認定品目団体)」として認定されました。また、12月14日には、農林水産大臣から認定証の授与が行われました。

  この認定を契機に、更なる日本産コメ・コメ関連食品の輸出拡大に努めて参ります。

認定農林水産物・食品
輸出促進団体認定証

1 認定番号 第５号
2 認定年月日 令和４年12月５日
3 輸出促進業務の対象となる農林水産物又は食品の種類
コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品
4 認定農林水産物・食品輸出促進団体
名称 一般社団法人全国コメ・コメ関連食品輸出促進協会
Japan Rice and Rice Industry Export Promotion Association
代表者の氏名 代表理事 木村 良
住所 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町15-15

この団体は農林水産物及び食品の輸出の促進に関する法律（令和元年法律第57号）第９条第６項の規定により認定農林水産物・食品輸出促進団体に認定されたことを証明する。

令和４年12月５日

農林水産大臣 野村哲郎

農林水産大臣から認定証を授与される
木村理事長（中央）

入会について

1. 入会特典

会員のコメ・コメ関連食品の輸出拡大支援のため、以下の取組を実施します。

（1）全米輸が実施する海外での商談会、展示会、プロモーション事業等への参加
（※正会員のみ）

（2）専門家による輸出関連相談対応

✓ 全米輸が契約した輸出に関する専門家がご相談に応じます。

（3）全米輸が主催するセミナー（市場の状況、対応策等）への参加

✓ コメ・コメ関連食品の市場の動向、海外規制の状況等、 輸出拡大に有効となるオンラインセミナーを実施します。（2025年度の事例は1ページ既掲載）

（4）輸出PR用のロゴマーク、ポスター、リーフレット、画像、動画、法被、のぼり等グッズ・ツールの貸し出し利用

（5）会員専用ホームページでの各種マーケット情報の共有

-専門家による海外マーケットについてのレポート（コメ・コメ加工品に特化した情報発信）

-最近のコメ・コメ加工品の規制改正の情報

-過去の事業実施結果の紹介　等

2. 会員の種類・年会費・事業参加負担金

※2026年度時点

- 正会員　　年会費　15万円
  事業参加負担金　　1事業参加につき商談会20万円
  展示会40万円
- 賛助会員　　年会費　　3万円
- 名誉会員　　年会費　　なし　※名誉会員は理事長の推薦による法人、個人

3. 入会手続き

- 入会をご希望の場合、入会申込書及び会社概要、国別輸出実績をご提出いただきます。
  書類の受領後、理事会での承認を経て入会となります。正式な入会は、会費の納入を確認した時点となります。
- 「入会希望」と題して、貴社名、ご担当者名、電話番号をご記入の上、下記宛（jimukyoku@zenbeiyu.or.jp）にメールしてください。

令和７年度 主な取り組み実績

(1) アメリカ西海岸展示会(WFF)

- 2026年1月、３日間で千社以上の世界の企業・団体が出展し、１万人以上のバイヤーなどが参加した、北米西海岸最大規模の高級食品見本市。
- 令和7年度はサンディエゴで開催。
- 会員15社が参加し、２億円規模の成約結果となった。

(2) アメリカ東海岸展示会(SFFS)

- 2025年6月、ニューヨークで開催。
- 東海岸最大規模の見本市。3日間で２千以上の世界の企業・団体が出展し。約３万人が来場。
- 今回初参加となり、全米輸独自のブースで、18会員社が参加し、１億円規模の成約結果となった。

(3) ダラスにおけるコメ、コメ関連食品プロモーション

- アメリカ中部開拓の位置づけで、当該エリアの輸入関係者が多く拠点を構えているダラスで実施。
- 独自で招へいしたバイヤー対象に、セミナー、ワークショップ、試食も合わせたオリジナル商談会を開催。合わせて、現地主催の一般消費者向けPRイベントにも参加。
- 2025年10月実施。7会員社が参加。

令和７年度 主な取り組み実績

(4) ドイツ展示会(ANUGA)

- フランス(パリ)でのSIAL Parisと一年ごとに交互で実施するヨーロッパ最大の見本市の一つ。
- ８千社の企業・団体が参加し、14万人以上が来場。
- 2025年10月、ケルンで開催。16会員社が参加。1億円規模の成約結果となった。

(5) イギリスにおけるコメ、コメ関連食品プロモーション

- CPTPP加入による関税撤廃をきっかけとしたコメ・コメ加工品の輸出拡大を目指し、現地バイヤー等を対象に、セミナー、ワークショップ、試食と合わせたオリジナル商談会を、2年続けて開催。
- 2025年9月、ロンドンで実施。５会員が参加。

(6) メキシコにおけるコメ、コメ関連食品プロモーション

- 現地でのコメ・コメ関連食品の輸出拡大を目指し、現地バイヤー等を対象に、セミナー、ワークショップ、試食と合わせたオリジナル商談会、及び、toC向けの試食PRも実施した。
- 2025年８月、メキシコシティで実施。８会員社が参加。

令和７年度 主な取り組み実績

（7）アラブ首長国連邦におけるコメ、コメ関連食品プロモーション

- 現地でのコメ・コメ関連食品の輸出拡大を目指し、現地バイヤー等を対象に、セミナー、ワークショップ、試食と合わせたオリジナル商談会を開催。
- 2025年12月ドバイで実施。９会員社が参加。

（8）中国におけるコメ、コメ関連食品輸出の可能性調査及び食品見本市(FHC)への出展

- 日中関係が低迷していたここ数年の間に中国市場においてのコメ、コメ関連商品市場にどのような変化があったかを調査し、現地の大規模見本市に参加した。
- 見本市は、2025年11月、上海FHCに出展。３千社以上が出展し、18万人以上が来場。4社が参加。

（9）日本産ロゴマークの認知拡大調査事業(香港)

- 近年の最大輸出先である香港を対象に、全米輸の『輸出促進統一ロゴマーク』の認知促進と日本産米のPRを実施した。
- 現地で販売する会員の精米パッケージや、現地日本産米取扱い外食・小売店の店頭やメニュー等に表示することで認知拡大を図った。
- 会員6社の商品パッケージに掲載協力を頂いた。

令和８年度事業予定

①アメリカ東海岸商談会

● アメリカ東海岸において、現地の量販店、小売店、外食店での日本産コメ・コメ関連食品の取扱い拡大を目指したオリジナル商談会。

　特に、現地系量販店の惣菜コーナーの寿司やおにぎり等の米飯惣菜の日本産米へのスイッチを目標とする。ニューヨークにて９月実施。

②アメリカ西海岸商談会

● アメリカ西海岸において、現地の量販店、小売店、外食店での日本産コメ・コメ関連食品の取扱い拡大を目指したオリジナル商談会。

　同じく、現地系量販店の惣菜コーナーの寿司やおにぎり等の米飯惣菜の日本産米へのスイッチを目標とする。ロサンゼルスにて11月実施。

③フランス展示会(SIAL Paris2026)

● フランスのパリで、2年に一度、ドイツ(ケルン) と交互に開催される、ヨーロッパ最大の食品見本市。

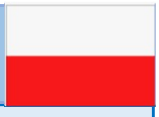
　５日間の開催で、７千以上の世界の企業・団体が出展し、30万人近い輸入関係者が参加。パリで10月開催。

④ デンマーク商談会

● 日本産コメ・コメ関連食品の新規市場である北欧において，現地バイヤー、ディストリビューター等を対象に、試食等を通じ日本産米等の魅力をＰＲするとともに、商談会を通じてのビジネス創出を目指す。

　商談会に先立って、バイヤー等向けに日本産米の美味しい炊き方等のセミナーを実施し、レクチャー・試食等を行う。また、購買力が高く、寿司人気もあると言われている当地の日本産米、関連食品市場の受容性の調査も実施し、商談会及びその後の展開に資するための材料とする。コペンハーゲンにて11月実施。

⑤ポーランド商談会



● 日本産コメ・コメ関連食品の新規市場である東欧において，現地バイヤー、ディストリビューター等を対象に、試食等を通じ日本産米等の魅力をＰＲするとともに、商談会を通じてのビジネス創出を目指す。

　同様に、バイヤー等向けに日本産米の美味しい炊き方等のセミナーを実施し、レクチャー・試食等を行い、当地での日本産米、米関連食品市場の受容性の調査も実施し、商談会及びその後の展開に資するための材料とする。ワルシャワにて９月実施。

令和８年度事業予定

⑥海外市場でのコメの用途別訴求の受容性調査・実証

- 海外市場で一般消費者がより日本産米を買いやすくするための仮説として考えられる「寿司向け」「おにぎり向け」など用途別の表示がどの程度効果的であるかの検証事業。
- 会員の協力を得、実施のための検討会を踏まえ、現地の小売店等での実売テストを実施して検証を行う。

⑦輸出における冷凍・チルドに関する事業者のニーズ調査

- 今後の需要拡大が期待される冷凍・チルドによるコメ加工食品の輸出の拡大を妨げる流通上の問題として、関連する事業者にとってどのような課題があるかを探り、輸出拡大促進のための具体的な解決策・方向性を検討する調査事業。

⑧NY全国知事会での米粉・米粉製品のPR・商談イベント

- 全国知事会主催の「日本ふるさと名産食品展in ニューヨーク」の一部スペースにおいて、輸出重点品目である米粉・米粉製品に特化したイベントを開催。

  現地流通関係者等の日本産米の米粉・米粉製品の取扱い意欲を喚起し、販路拡大等を目標とする。ニューヨークにて10月実施。

⑨リヨン展示会(Sirha Lyon（シラ・リヨン）2027)

- フランスのリヨンで2年に1回開催される、外食業界を中心とした経営者・バイヤー・料理長などが多く集まり、欧州全域を対象とした大規模見本市。

  欧州全体で浸透しつつある、おにぎり、米粉のパンや菓子の試食を通じて、日本産米の価値訴求を行う。現地で評価の高いシェフやパティシエを招致するなどしてのＰＲを実施。リヨンで2027年1月開催。

⑩新市場開拓用米確保に向けた生産者と輸出事業者のマッチング商談会

- 輸出に仕向けられる米の確保のため、国内の生産者及び生産者団体と、新市場開拓用米の輸出拡大を希望する輸出事業者との直接取引の機会を提供するマッチング商談会を開催。

  併せて、全米輸会員増加に向け入会の働きかけも行う。

THIS IS
JAPAN QUALITY
日本のおいしい米。

日本産米輸出促進統一ロゴマーク（プロモーションロゴ）のご紹介

日本のお米を後押しするために、私たちは「日本らしさ」と「品質の良さ」の2つをロゴマークに込めたいと考えました。

海外の人が一目見ただけで「日本らしさ」を感じるであろう、「富士山・桜・太陽」の3つをお米の稲穂と共に用いました。そして、周りを雲が漂い、しめ縄で囲みました。

雲は、「雨をもたらす豊穣の印」、「運と同じく“ウン”と読む吉祥の印」、「天高く雲を突き抜けて売れること」を意味し、幸運が舞い込むことを願うマークです。

「しめ縄」は、神様を祀るときに用いられており、大切なものを祀るという意味があります。

さらに、このことを伝えるためには、分かりやすく親しみやすい言葉＝コピーも大切と考え、「THIS IS JAPAN QUALITY　日本のおいしい米」のメッセージで表現しました。

このような思いを込めて、私たちはこのロゴマークを作りました。

J·R·E
全米輸
JAPAN RICE AND RICE INDUSTRY
EXPORT PROMOTION ASSOCIATION

<お問い合わせ窓口>

全米輸では、今後も日本産コメ・コメ加工品の海外需要開拓のために様々な事業を実施予定です。

この事業案内及びご入会についてのお問い合わせは、
以下の窓口までお問い合わせください。

電話：03-5643-1720　メール：jimukyoku@zenbeiyu.or.jp
全米輸 事務局 宛